

## 第20回イカ・カ二杯唐松・藤津地区交流大会開催要項

主催 藤津鹿島地区小学生バレーボール連盟  
共催 唐松地区小学生バレーボール連盟  
後援 唐津市バレーボール協会

### 1. 大会の趣旨

- (1) 教育的配慮のもとに、バレーボールを通じて唐松地区、藤津鹿島地区児童の親睦と交流を図る。
- (2) バレーボールによる小学生の体力向上とたくましい意欲の養成に努める。
- (3) 低学年層から正しいバレーボールの基本技とチームプレーを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。

2. 開催期間 令和3年12月18日(土)

### 3. 会場

①ブロック：嬉野小学校体育館／吉田小学校体育館

②ブロック：鹿島市民体育館／鹿島小学校体育館

※各チームネームプレートを持参下さい。

4. 開会式 開会式は行いません。試合開始 午前9時00分

5. 大会日程

- ・会場準備 7:30 (藤津鹿島で行います)
- ・開場 8:00
- ・監督会議 8:40 (各会場にて行います)
- ・開会式は行いません。
- ・試合開始 9:00
- ・閉会式 決勝終了後、コート表彰をします。

6. 参加資格 令和3年4月1日12歳未満の者で、現在、唐松地区、藤津鹿島地区内の国、公、私立の小学校及び各種学校に在籍している者。

7. 競技規則 令和3年度(財)日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を用い、21点のラリーポイント制を採用する。

### 8. 競技方法

- ・ブロックを大きく2つに分け、それぞれ、予選は環状リーグ戦を行い決勝トーナメント戦を行う。
- ・予選でパート毎の上位2チームを決定し、決勝トーナメントへ進出することができる。また、予選3位、4位チームは3位、4位グループ決勝トーナメントを行う。
- ・すべて3セットマッチとする(3セット目は15点)
- ・3位決定戦は行わない。
- ・予選リーグ戦の順位決定順については、

□パート①勝敗 ②直接対決 ③セット率 ④得点率(得点÷失点)の高いチーム ⑤1セットマッチ(15点)

△パート ①勝敗 ②セット率 ③得点率(得点÷失点)の高いチーム ④直接対決

9. チーム編成 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手は14名以内とする。

10. 使用球 (財)日本バレーボール協会が公認する軽量カラー4号球「ミカサボール(MVA500)」とする。  
(円周63.0±1.0cm 重量210±10g)

※ ボールの内気圧については6人制競技規則に準ずる。

### 11. 競技服装

- (1) 選手の背番号は1～99番とするが、1～14番が望ましい。
- (2) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、ジーパン、スカート、裸足、サンダルは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章をチーム側で用意し、必ず着用すること。

12. 参加料 ￥2,000- (開会式会場で徴収)
13. 参加申込方法 大会参加有無を組合せ抽選会までに、大会事務局へ連絡すること。(事前に連絡完了済)
14. 参加申込締切日 大会抽選会までとする。(事前に了承済み)
15. 組合せ 令和3年12月1日(水)に組合せ抽選会を開催し、各チーム代表者(欠席の場合は代理者)で抽選を行う。
16. 監督会議 大会当日の午前8時40分から各予選会場で行う。
17. 審判 帯同審判員制とし、各チームで責任を持って行う。
- ※ 予選リーグ戦については、対戦の時計回りの先のチームが行う。また、決勝トーナメント1回戦は次の試合のチームで、後は敗者チームで行う。  
(主審1名・副審1名・得点2名・線審4名・サブチェック2名)
- ※ 各チーム主審・副審の出来る成人を同行させること。

18. 表彰 各ブロック1位~3位までを表彰する。
- ◇優勝チーム(2チーム): 賞状/優勝トロフィー
- ◇準優勝チーム(2チーム): 賞状/準優勝トロフィー
- ◇3位チーム(4チーム): 賞状
- ◇3,4位グループトーナメントの1位チーム: 賞状/トロフィー
- ※H23年度からトロフィーは取りきりにしました。

19. 大会結果 鹿島市立大浦小学校ホームページに結果を掲載します。

20. その他 (1)会場準備: 主催者側で準備を行います。
- (2)昼食: 昼食タイムはとります。会場移動がある場合は、移動してから食事をとる。
- (3)傷害保険: 選手・指導者は全員スポーツ傷害保険に必ず加入手続きを済ませておくこと。
- 選手の健康については、指導者・保護者が十分に注意をして出場させること。

21. 問い合わせ及び関係書類送付先 〒849-1612 藤津郡太良町大字大浦丁348番地 大浦小学校内  
藤津鹿島小学生バレーボール連盟 事務局 小森文彦  
TEL0954-68-2129 fax0954-68-3691

## 22. 感染対策について

- ①人数制限を設ける。各チーム、指導者、選手、保護者など含めて20名以内とする。体育館の外から見るのも、この人数で。
- ②試合をしないチームの保護者と試合・審判をしないチームの選手は体育館から出る。審判をしない(ラインズマン、得点板以外)選手も体育館から出る。
- ③指導者、選手以外のチーム関係者(保護者など)はチームの名前札をつける。
- ④ラインズマンフラッグは自分たちのチームのものを使用する。
- ⑤できるだけ選手入り口と保護者入り口を分ける。(可能な場合)
- ⑥体調管理表(様式は各チームにお任せします)を作成し、チームで1か月保管する。
- ⑦ホイッスルは電子式でもよい。音の高さについては朝の監督会議で確認する。従来までの笛式の物はマスク(1重)をして使用する。穴は開ける必要はない。
- ⑧タイムアウトの時は、手指消毒を行い、コートチェンジの時も椅子の消毒を行う。

※大会に参加できない場合

★インフルエンザが大流行した場合の決め事(県の規定より)

- A: 学校閉鎖の場合・・・残念ながら棄権
- B: 学級閉鎖の場合・・・その学級の児童は出場できない。
- C: 学年閉鎖の場合・・・その学年の児童は出場できない。

これまでバレー部員に感染者が出た場合 大会中止

- 今後 ①当日、かぜ症状の選手は出場不可
- ②当日、家族にかぜ症状がある選手は出場不可
- ③大会当日からさかのぼって2週間以内に陽性となった選手は出場不可
- ④本人が濃厚接触者と特定された場合は、保健所の指示があるまでは出場不可。
- ⑤選手の家族が濃厚接触者と特定された場合、検査の結果が陰性と確定するまでは、その選手は出場不可